

令和6年7月26日（金）坂出市役所本庁舎大会議室にて、一般社団法人基礎教育保障研究所理事長 城之内 庸仁先生をお迎えして、演題『誰一人置き去りにしない教育を求めて』のもと、講演会を開催しました。

当日は、市内小・中学校の教職員約130名が参加しました。たくさんの方の学びができた有意義な時間となりました。



城之内庸仁先生からは、なぜ今、夜間中学校や学びの多様な学校が求められているのか、「義務教育未修了者の存在」「形式卒業者の増加」「外国籍・外国にルーツがある方の増加」等の背景を様々なデータを基にご説明いただきました。

岡山自主夜間中学校理事の野原多美子様からは、スタッフになろうと決心をしたきっかけ、生徒さんの学びに対する意欲の高さから、「学びの場を守りたい」という強い気持ちを伝えていただきました。

岡山自主夜間中学校生徒会長である井上健司様からは、日常生活や仕事の困り感、夢と希望を求めた岡山自主夜間中学校との出会い、夜間中学校の存在意義を自身のご経験から、力強い言葉でお話していただきました。



坂出市教育研究所  
令和6年度 学校教育課題部会

新たな価値を創造しともに確かな未来を切り拓く人づくりをめざして

# 笑顔あふれる学校づくり



クイズ：どこの学校の校章でしょう。

坂出市のまちづくり基本構想の将来像「働きたい 住みたい 子育てしたい 共働きのまちさかいで」のもと、今年度、坂出市教育大綱において、「新たな価値を創造し、ともに確かな未来を切り拓く人づくり」と基本理念が掲げられました。

これからの時代を生き抜く子どもたちには、多様な他者と協働し、豊かな創造性を備え、常に新たな価値を追究していくことが求められます。また、子どもの発達や学びの連続性の保障には、校種間の接続・連携を重視した教育の推進が必要とされます。

今年度本部会では、部会員が所属する市内小・中学校7校における校種間が連携した取組を中心に、「魅力ある学校づくり」について紹介します。

## ＜参加者の感想より＞

- 自主夜間中学校があることで、誰一人取り残さない教育を実現させようとするように、私は一斉指導だけでなく個別の支援を考えた指導をしていくことを心掛けたい。理事の野原さんが城之内さんの言葉に感化されたように、私たちのどんな言葉がきっかけになり、心を動かすか分からないと思った。その逆の場合もある。相手に対して真摯な気持ちで接し、個をしっかりとみて、個に応じた対応を考えていきたい。
- 井上さんの話から、「岡山自主夜間中学校」では、本当に学び直しをしたい人たちの学びへの欲求が感じられた。「学ぶことは生きること」という強い思いをもって私は日々教えることができていただろうか。夜間中学校が全国に当たり前が増えてほしいと願うとともに、学ぶことに困り感を感じている子どもたちにもっと寄り添っていかうと改めて感じた。
- 「学校には来るものだ」という大人の思いがそもそも多様性を認めず、子どもにしんどさを感じさせてしまう一つの要因であることが分かった。子どもたちの思いや背景を理解し、子どもたち一人ひとりに合った学び方や選択肢を提案するなど、ともに模索していかうとする教職員の寄り添う姿勢と意識改革が誰一人置き去りにしない教育づくりにつながるだろうと思う。
- 一人で不登校児にアプローチすることは限りがある。チームでの対話を今まで同様大切に、様々な観点からアプローチを図っていかうと思った。一人の子ども、保護者、そのかわりや思いを大切に、行動していかう。



坂出市の花：コスモス

# ともに確かな未来を拓く力をはぐくむ 小・中学校9年間の成長をめざして

## 連合児童会リーダー研修会

市内小学校の児童会役員が集まる交流会。令和6年度は、観音寺第一高等学校・演劇部の豊嶋先生をお招きし、「表現」をテーマに芝居づくりや朗読発表などを行った。他校児童との積極的な交流を行う中で、協力することの大切さや創作や表現の楽しさを学んだ。



## 学校再編に向けての交流会

前期の学校再編（東部中学校・東部小学校・金山小学校・西庄小学校）に向けて、小学校3校では子どもたちの交流を少しずつスタートさせている。

### 小小連携

#### ふれあい交流会(小学校)



市内小学校の特別支援学級に在籍する子どもたちが、レクリエーション等を通して、自立や社会参加の力を高めることをねらいとして実施している。

## ふれあい交流会(中学校)

坂出市と綾歌郡の中学校の特別支援学級に在籍する生徒たちが、交流する機会を設けている。



協力しながら行う活動を通して、自立心や自己有用感を育てることにつながっている。

## 中中連携



## 坂出市連合生徒会

坂出市内の各中学校の生徒が交流することを目的として、連合生徒会を行っている。令和6年度は、サウサリート（アメリカ合衆国にある坂出市の交流都市）からの留学生を交えて和食文化のプレゼンや調理実習を行った。楽しく活動することを通して、他の中学校の様子を知ることができた。



## 人権・同和教育研修会

人権・同和教育に関する授業力の向上をねらって、6年生の同和問題学習の授業（西庄小・川津小）を市内の小・中学校の教職員に公開し、研究討議を行っている。



## KSR:校内サポートルーム(坂出小学校)

KSRの部屋には、学習スペース(居場所)の確保のため、一人一人の座席を用意し学習できる環境を整えている。それぞれのホワイトボードに、学習の記録や活動の様子を掲示し、自分を表現したり振り返ったりすることができるようにしている。



## 小中の子どもたちや教職員がつながります

校種間の接続・連携を重視した教育の推進

## 教育支援センター交流会

ふれあいの部屋（坂出中内）、わかばの部屋（東部中内）、であいの部屋（白峰中内）が、定期的に合同での活動を行っている。



## 小学校における中学校教員による授業(東部中校区)



中学校の教員が校区内の東部小学校（外国語）と金山小学校（図画工作・書写）へ出向き、授業を行っている。小学校から中学校への移行をスムーズにすることができる。

## 健全育成協議会(白峰中校区)

地域の方や小・中学校の教員など校区の関係者が生徒の現状や課題について懇談している。このような活動を通して、共通理解を図り、生徒の健全育成の一助としている。



## SSWによるかかわり

SSWは、小・中学校双方の情報を持ち、児童・生徒と信頼関係を築いている。そこで、SSWを通して、情報を共有し、小・中学校が連携したかかわりを行っている。(写真は、SSWが職員会でかかわり方を説明している様子)



## 小中連絡協議会

同一の中学校区で、児童・生徒に関する情報共有を、SCやSSWを交えて、定期的に行っている。



## 中学校区内の小・中学校の交流

要請による学校訪問に同一の中学校区の教員が参加し、学校経営や研究体制、授業づくりについて学び合う場としている。



## 小中連携

## 小中合同研修会(坂出中校区)

様々な角度からテーマを設け、校区内小・中学校の教員が参加して研修をしている。



子どもの育ちをつなげます  
すべての児童生徒の絆づくりと居場所づくり